

目的・
目標

新作オペラの国際共同制作と海外音楽祭への若手音楽家派遣プロジェクトを通し、世界における日本の文化芸術のプレゼンスの向上を狙うとともに、その活動を通して日本の若手アーティストおよびスタッフが大きな知見を獲得することを目的とする。

概要

伝統ある国際音楽祭のひとつ「ルツェルン音楽祭」に今後活躍が見込まれる音楽家を派遣することでスキルアップと海外での活動の場を拡げる機会を創出する。また、日本での成果発表の場となる公演を実施する。スコティッシュ・オペラとの国際共同制作では、新作オペラの制作過程を通し、次代を担う若手音楽家および若手スタッフの育成をし、活動の場を海外へと広げられるような知識と能力を培っていく。

3年目までの取組

「ルツェルン音楽祭への若手音楽家の派遣」では、世界的指揮者のもとでの音楽制作体験や海外音楽関係者との交流を通して知見獲得やネットワークを構築し、今後の海外での活動拡大の足掛かりとする。「ルツェルン音楽祭アカデミー in Japan」ではルツェルン音楽祭作曲アカデミーの参加者による、日本での成果発表の場とする。新作オペラ“The Great Wave”では、日英の国際オペラ共同制作において若手音楽家・スタッフを多く起用することで、国際的な場で通用するコミュニケーション能力を培い、今後の活動の場を海外へと拡大していけるようにする。

5年目までの取組

新作オペラ“The Great Wave”の日本初演公演およびさらなる海外公演への展開に向けた準備・制作活動を行う。ここでは「ルツェルン音楽祭への若手音楽家派遣」「ルツェルン音楽祭アカデミー in Japan」に参加した若手音楽家およびスタッフの積極的な登用を検討。プロジェクト参加者の成果発表となる機会を創出し、多くの国内外の文化芸術関係者からの評価を獲得し、今後の海外市場で活動できるようサポートをしていく。

(分野・ジャンル)

音楽(オーケストラ、オペラ)

(渡航先の国・地域)

ルツェルン(スイス/2025年)

グラスゴー、エジンバラ

(スコットランド/2026年)

(国内外の連携・協力体制)

劇場、オーケストラ、音楽祭事務局との連携

成果目標(見込)

目標値

企画段階から海外公演等で
登用される若手クリエイター等
の数

10人

国内外の団体・企業等との連
携数(連携団体数、事業
提携数、拠点形成数など)

8件

プロジェクトに関わる海外アー
ティスト・キュレーター等の数

8人

国内外で展開される公演・
展示等の数

6回

国内外で展開される公演・
展示等の入場者数

4,950人

中核となるクリエイターやアドバイザー

佐藤正治(事業統括プロデューサー)

1975年梶本音楽事務所(現KAJIMOTO)に入社。99年4月より取締役副社長。04年11月より取締役シニア・ディレクター、08年4月より同社プロジェクト・アドバイザー。

海外アーティストの日本招聘および日本発企画の海外公演に携わっている。



杉山亜希子(オペラ・プロデューサー)

ノースウェスタン大学で音楽と心理学を専攻し、卒業後に小澤征爾音楽塾などでオペラ・プロデューサーとして、多数の海外歌劇場との共同作品の制作や日本伝統芸能の海外公演などに携わる。



育成対象者: 10名

- ・指揮者
 - ・作曲家
 - ・舞台制作
 - ・照明
 - ・演劇
 - ・ビデオグラファー
- を予定

【補足資料】

